

環境への取り組みを重視した新技術を公開！ ～テクノフェア2009 開催される～

技術開発本部では平成21年10月21日(水)～22日(木)の2日間、テクノフェア2009を開催いたしました。

今回は、“環境への挑戦。～技術と自然のE^い関係～”をテーマとし、自然環境をイメージしたパビリオンでは「山のゾーン」「山から里のゾーン」「里から海辺のゾーン」の3つのゾーンに「エコ機器のゾーン」「体験ゾーン」を加え、自然との調和、共生に関する技術をより分かりやすく展示しました。また、昨年に引き続き(財)電力中央研究所に協力を賜り、地球環境と電力エネルギーの問題点や対策を紹介いただきました。一方、実験棟を使って時代に貢献する多岐にわたる技術を発表し、さらに会議室棟を展示館として、中部電力のグループ企業9社の技術紹介を行いました。

開催両日とも好天に恵まれ、地域各界のオピニオンリーダーや各企業・研究団体・学校関係のみなさまなど、合計3,348名のご来場をいただき、感謝しております。

当社の「環境への挑戦」をさらに推し進めた技術力の理解と浸透、大学関係者や各種専門分野の有識者との交流を通じた産学連携の強化、法人のお客さまをはじめとする企業のみなさまへの技術紹介・活用促進に大いに貢献できたものと思っております。また、未来に技術を託す工業高校の生徒さんにも、多数参加いただき会場に活気がみなぎっておりました。

会場入り口に、電気自動車やプラグインハイブリッド車の実車への充電装置を公開し、お客さまからの質問に答えながら普及促進に努めました。一方、業務用電化厨房実験棟では「圧力IHおどり炊きPRO」と「省エネ型電気式スチームコンベクションオープン」を使って、おいしいご飯とから揚げを試食したり、平成21年4月に新設された国内最大級のヒートポンプ試験設備「ヒーポンらぼ」も公開し、スケールの大きい体感をしていただきました。

来場されたお客さまからは、

- 環境問題への取り組みがよくわかり勉強になった。
 - 直ぐ世に出てほしい技術(製品)が盛り沢山で楽しかった。グループ企業の紹介も有効だと感じた。
 - 電力、電気の業務ばかりだと思っていたが、それ以外にも様々な事をしており非常に興味を持った。
 - 展示物などが見やすかったし、研究員の方の説明も分かりやすく聞きやすかった。
- などの感想が寄せられました。

今後もより良いフェアとしていくつもりですので、次回も多数のみなさまのご来場をお待ちしております。

来場者内訳

| 分類 | 行政・一般 | 一般企業 | 学校 | 社内関係会社 | 合計 |
|----|-------|-------|-----|--------|--------|
| 実績 | 275 | 1,541 | 355 | 1,177 | 3,348名 |



写真1 多くの来場者でにぎわうテーマパビリオン



写真2 人気を集めた音メガネ

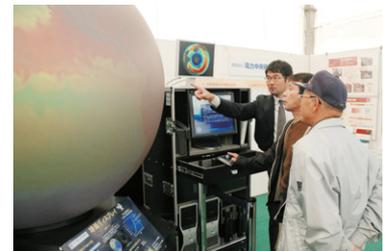


写真3 (財)電力中央研究所の展示



写真4 IHクッキングヒーターの実演(試食)



写真5 研究者の説明を聞く三田社長

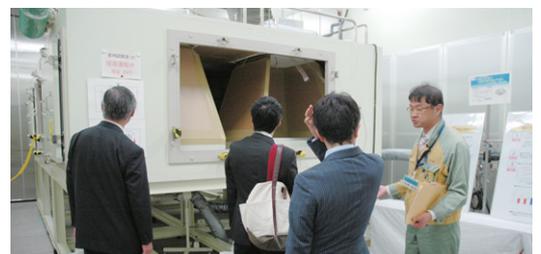


写真6 新公開のヒーポンらぼ(ウェスト)



写真7 電気自動車と充電設備の紹介



写真8 昨年に続き好評だった漂着流木工作

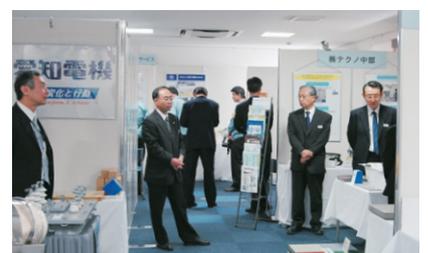


写真9 展示館でのグループ企業紹介